

令和7（2025）年度
11月入学試験問題

一 般

専 門 科 目

受 験 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで試験問題を開いてはいけません。
2. 受験者は、すべて試験監督員の指示に従ってください。
3. 試験時間内の退室はできません。
4. 解答用紙のみ提出してください。
5. 試験時間は60分です。

(会計専門職研究科)

会計専門職研究科
令和7(2025)年度11月入学試験問題
【簿記】

【1】以下の取引の仕訳を示しなさい。

1. 現金の帳簿残高が23,500円であるところ、現金実査の結果、実際有高は22,200円であった。差額の原因を調査したところ、①3,200円と記入すべき未払金の支払額を2,300円と誤記していたこと、②切手の購入代金3,200円の記入漏れがあること及び③貯蔵品(簿価:2,800円)を2,850円で売却した現金取引の記帳漏れがあったことが判明した。それ以上の原因説明はできなかつたため、残額は雑収入又は雑損失として処理する。

2. 当期中の商品販売に際して受け取っていた約束手形(額面200,000円)を取引銀行で割り引き、割引料3,000円を差し引かれ、残額を当座預金とした。なお、手形額面の1%の保証債務を計上した。

3. 仕入先受取り、得意先支払いの為替手形100,000を得意先の手承を得て振り出した。

4. 得意先から、当社に対する買掛金400,000円(当社では同社に対する売掛金)を電子債権記録機関に発生記録した旨、同得意先から連絡を受けた。

5. 株主総会において、以下の繰越利益剰余金の配当及び処分が決議された。なお、このときの純資産項目の金額は、資本金1,000,000円、資本準備金150,000円、利益準備金98,000円である。

株主への配当金	50,000円	利益準備金積立額	会社法の定める金額
配当平均積立金	30,000円		

6. 当期首に建物(取得原価:1,000,000円 減価償却累計額400,000円)が焼失したので、保険契約に基づき保険会社に保険金の請求をした。なお、当該保険契約による補償限度額は500,000円である。

7. 支店独立会計制度を採用している当社のA支店はB支店に商品(原価:70,000円)を80,000円で送付し、B支店はこの商品を受け取った。なお、(1)本店集中計算制度、(2)支店分散計算制度により本店、A支店及びB支店の仕訳を行いなさい。仕訳が必要ない場合には、借方科目の欄に「仕訳なし」と記入すること。

【2】以下の決算整理事項等を参照して、解答用紙の精算表を完成させなさい。

1. 商品の期末棚卸高は次のとおりである。

帳簿棚卸数量	100個	原価	@350円
実地棚卸数量	98個	時価	@550円

なお、実地棚卸数量のうち3個は品質低下のため@50円に評価替えする。

2. 減価償却を次のとおり行う。

備品:定率法	年償却率	30%		
建物:定額法	耐用年数	40年	残存価額	0円

3. 売上債権の期末残高に対して1.2%の貸倒引当金を設定する。

4. 仮払金は従業員の当期中の出張のための旅費の前払い分である。これについては、期中に精算手続きが行われ、不足分の240円を現金で支出したが、未処理であった。

5. 仮受金は調査の結果、全額が売掛金の回収分であることが判明した。

受験番号					

※ 氏名は記入しないこと！

解答用紙（専門科目） 【簿記】

評 点	/ 100
--------	-------

熊本学園大学大学院
会計専門職研究科

【1】

番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
6.				
7. (1)本店集中計算制度				
本店				
A 支店				
B 支店				
7. (2)支店分散計算制度				
本店				
A 支店				
B 支店				

受験番号
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> </div>

※ 氏名は記入しないこと！

【2】

精算表

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	34,400							
当座預金	76,000							
受取手形	130,000							
売掛金	120,000							
繰越商品	50,000							
備品	100,000							
建物	200,000							
土地	370,000							
仮払金	25,000							
支払手形		145,000						
買掛金		139,600						
借入金		120,000						
未払金		80,000						
備品減価償却累計額		51,000						
建物減価償却累計額		60,000						
仮受金		20,000						
資本金		350,000						
利益準備金		30,000						
繰越利益剰余金		25,000						
仕入	335,000							
給料手当	40,200							
旅費交通費	12,000							
貸倒損失	600							
支払利息	6,800							
売上		478,160						
受取手数料		1,240						
合計	1,500,000	1,500,000						
商品評価損								
棚卸減耗損								
貸倒引当金繰入額								
貸倒引当金								
備品減価償却費								
建物減価償却費								
当期純利益								